

第87回 長崎地区メーデー

## 出島ワーフ横三角広場に約3,000人が結集!



連合長崎地協・長崎地区労・同盟愛連絡会・中連懇話会の労働四団体で構成する長崎地区メーデー実行委員会は、5月1日(日)、出島ワーフ横三角広場で第87回長崎地区メーデーを開催し、約3,000人が結集しました。開催に先立ち、4月14日以降に発生した「熊本・大分を中心とする地震」で犠牲になった方々に哀悼の意を表し、参加者全員で黙祷を捧げました。

メーデー式典では、冒頭、酒井隆実行委員長(連合長崎地協議長)は主催者あいさつとして3点について触れ、▼熊本地震について「4月14日から発生した『熊本地震』は、熊本・大分地方に甚大な被害をもたらし、多くの方々がその犠牲となり、また、避難生活を余儀なくされている。一人でも多くの方を一日でも早く、今の苦しみから解放するために、出来ることを積極的にやっていくので、皆様のご協力をお願いします。」▼2017春季生活闘争について「今回の春闘は、一昨年の春闘における賃金引上げの流れを着実なものとする闘いであり、連合に集う組合員のみならず、未組織労働者や非正規労働者への波及も睨みながら、社会全体の賃金・労働条件の『底上げ・底支え』と『格差是正』をはかることで、『デフレからの脱却』と『経済の好循環実現』を果たす重要な意味を持つものである。」▼第24回

参議院議員選挙について「比例区に関しては、すでに各産別で準備を進めているが、選挙区については、『西岡秀子』氏勝利にむけ、これから戦う準備を加速しなければならない。いずれにしても厳しい戦いになることは間違いないが、我々の代表の勝利に向け、各構成組織がやるべきことをしっかりやり、一致団結して臨めば必ず勝てる戦いである。」と述べ、熊本地震からの復旧・復興への支援と、2つの戦いへの取り組みを訴えました。

続いて、来賓あいさつとして、連合長崎 森光一会長、民進党県連 高木義明衆議院議員、社民党県連 坂本浩副代表、長崎県 中村法道知事、長崎市 田上富久市長より祝辞を賜りました。

メインスローガンには『すべての働く者の連帯で自由で平和な世界と希望のもてる安心で豊かな社会をつくろう!』を、サブスローガンには7項目を採択、また特別決議として『地場・中小組合春闘支援』『核兵器廃絶と恒久平和』『第24回参議院選挙必勝』を採択し、会場に駆けつけた長崎選挙区『西岡秀子』予定候補者より力強い決意表明がなされました。

最後に『メーデー宣言』を連合長崎青年委員会 百田委員長が読み上げ採択し、酒井実行委員長のガンバロウ三唱で終了しました。

## メインスローガン

# すべての働く者の連帯で、自由で平和な世界と希望のもてる安心で豊かな社会をつくらう!



主催者あいさつ  
酒井隆実行委員長(連合長崎地協)



議長 左：平野 忠司(長崎地区労)  
右：桜井 健一(中連懇話会)

### 〈サブスローガン〉

1. 被災地の復旧・復興に向け、全国の仲間と連携した取り組みを継続・強化しよう!
2. 日本国憲法の基調である「主権在民、基本的人権の尊重、戦争放棄」をふまえ、我が国の平和的発展をめざそう!
3. 世界の恒久平和と軍縮をめざし、あらゆる国の核実験に反対すると共に、核兵器の廃絶をめざそう!
4. すべての職場に労働組合をつくり、働くものの生活と権利を守るため発言力を高めよう!
5. 2016春季生活闘争の勝利と長崎県の最低賃金を引上げ、暮らしの底上げ、格差是正を実現しよう!
6. 労働者保護ルール改悪阻止と、社会保障制度の確立を求めよう!
7. 働く者・生活者の視点に立った政治の実現に向け、参議院議員選挙に完全勝利しよう!



西岡秀子 予定候補者



特賞 40型テレビ  
大島造船労組 荒瀬智幸さん

## 熊本・大分を中心とする九州地震救援カンパ

「九州地震救援カンパ」を行い、108,620円が集まりました。カンパ金は、連合長崎経由で連合本部へ送金し、被災された方々、被災自治体へ届けます。



## 来賓代表あいさつの皆様



連合長崎 森会長



民進党県連 高木代表



社民党県連合 坂本副代表



長崎県 中村知事



長崎市 田上市長



# 長崎市より政策制度要求に対する回答を受ける

「本人通知制度」の平成28年度導入について、具体的な回答が示される!

連合長崎地域協議会は、昨年12月21日に提出した政策制度要求書に対し、長崎市より2月10日に回答を受け、意見交換を行いました。

要求内容は15分野36項目と多岐にわたるものでしたが、特に戸籍・住民票を第三者が取得した際に本人に通知される「本人通知制度」の導入について継続的に求めてきたことに対し、平成28年度の導入に向けた具体的な回答が示されたことは、大きな成果でありました。

今後とも、労働者・生活者が求める政策制度の実現に向け、自治体への政策制度要求行動をはじめ、取り組みを進めてまいります。



## ○田上市長からの回答

- ・要求の「本人通知制度」については、かねてより要望をいただいております。長崎市としては国に対して全国的な制度の導入や法整備を求めてきたが、国からは応じがたいとの見解が示されている。その中で、長崎市としてはすでに導入した他都市の事例を参考にし、第三者の利益が損なわれないような工夫をしながら、平成28年度の導入に向けて進めてまいります。

## ○長崎地協酒井議長あいさつ

- ・この政策制度要求は、長崎地協として大きな活動の柱として取り組んでおり、長崎市民にとっても重要な内容であり粘り強く取り組んでいきたい。長崎をいかにして良くするかは大きなテーマであり、働きやすい・暮らしやすい長崎市にするために、今後とも連携をお願いしたい。

※要求書・回答書の詳細は、連合長崎ホームページ(<http://rengo-nagasaki.jp/>)掲載しています。

(連合長崎トップページ → 地協ニュース一覧 → 長崎市より政策・制度要求に対する回答を受領)

## 「連合長崎 非正規・パート労働者支援センター長崎」を開設



「支援センター長崎」除幕式

「連合長崎 非正規・パート労働者支援センター長崎」を3月1日に長崎県勤労福祉会館内(長崎市桜町9-6)に開設しました。このセンターは、現在雇用労働者の4割に達している非正規労働者への対応・相談機能を強化するため、県内5ヶ所(長崎・佐世保・諫早・大村・五島)に開設したものです。

非正規労働者を取り巻く環境は、「非正規労働者の3人に1人が主たる稼ぎ手」「4人に3人が年収200万円未満」という状況であり、また労働相談も多く寄せられています。正規・非正規、また労働組合への加盟・未加盟に関わらず、すべての働くものが安心して働き、生活できる社会の実現に向け、地域に根ざしたセンターをめざします。

# 「長崎地区労働者福祉協議会」活動報告

## 1. 2015年度長崎地区労福協「第2回ライフプランセミナー」

- 1)日 時 2016年1月26日(火) 18:15～
- 2)会 場 ホテル セントヒル長崎 2階 妙見
- 3)参加者 73名
- 4)内 容  
講演 「知って得するライフ・マネープラン」  
講師 (公財)富士社会教育センター 木村 正之 氏



講師 木村 正之 氏

## 2. 長崎地区労福協ボウリング大会

- 1)日 時 2016年2月11日(木・祝) 10:30～
- 2)場 所 長崎ラッキーボウル
- 3)参加チーム 24チーム・72名
- 4)結 果 優 勝：自治労・西海市職  
準優勝：全国ガス・西部ガス労組  
3 位：J P労組・長崎みなと支部



西海市職チーム

## 3. 長崎県労福協ボウリング大会

- 1)日 時 2016年2月21日(日)11:00～
- 2)場 所 長崎ラッキーボウル
- 3)参加チーム 22チーム・66名(長崎地区より4チーム)
- 4)結 果 優 勝：全国ガス・西部ガス労組(長崎地区)  
準優勝：自治労・県職島原A  
3 位：J P労組・長崎みなと支部(長崎地区)



西部ガス労組チーム

# 第24回参議院選挙「西岡秀子」予定候補者の推薦を決定!



連合長崎は、臨時執行委員会を3月8日に開催し、長崎選挙区「西岡秀子」氏の推薦を満場一致で決定、連合長崎地協としても3月16日に開催した第5回長崎地協幹事会において推薦を決定しました。

必勝に向け、皆様のご支援をよろしくお願いいたします!

### 西岡秀子氏 プロフィール

1964年3月15日、長崎市にて、故西岡武夫(第28代参議院議長)の長女として生まれる。

学歴・・・市立長崎幼稚園、長崎大学付属小・中学校、活水高校  
学習院女子短期大学・学習院大学法学部 卒業

職歴・・・国会議員秘書(父 西岡武夫)、  
会社員(N E C)会社役員